



子ども大学かわごえ

# CUK だより

第 52 号 NO.150331

2014 年 6 月 30 日

## 子ども大学かわごえ 第 7 期 第 9 回 授業

日時：2014 年 02 月 22 日(土) 14:00~16:00

場所：東京国際大学 第一キャンパス

テーマ：おもしろさとふしぎなことばの魅力

講師：慶応義塾大学大学院 大津由紀雄 先生



### 1. なぜ子ども大学？

- ・カッコいいから
- ・大学で開催されるから
- ・大学の先生が教えるから

既に誰かが明らかにした事を学ぶだけではなく  
自分たちで論議し、考える場所＝大学

子ども大学もそう言う場所にしたい。

### 1) 2009 年の講義内容

- ・なぜ飛行機は空を飛べるのか？
- ・なぜホテルとさかなは面白いのか？
- ・なぜ人の命を奪ってはいけないのか？
- ・なぜ多数決で決めるのか？
- ・なぜ電車の席は隅から埋まっていくのか？

5テーマに共通していること…「なぜ？」？  
「なぜ？」を解き明かす授業開始  
「なぜ？」と言う問いを科学的に説明



### 大切なこと

- ・疑いの心を持つこと…あの人がある事言ってるが本当だろうか？
- ・好奇心を持つこと…何にでも興味を持つ心



なぜなんだろう？ ⇒ 自然にそう考えるようになる。  
他人、先生、本などで知った情報に対して、なぜなんだろう？  
と自分の頭で考えることは重要



2) [質問 1] 家の中で一緒に暮らしている赤ちゃんは  
そのうちに言葉を話すのに、同じように一緒に暮らして  
いる犬や猫の赤ちゃんはいつまで経っても言葉を話せ  
ないのか？

答え：犬や猫は人ほど知能が発達していないし、口の構造が  
人と異なっているから。

人として育てられたチンパンジー  
「ニーム」  
手話で多くの言葉を教えたら  
数百種類の単語を覚えた。  
しかし単語を組み合わせて言葉  
を作ることは出来なかった。

## 2. ことばについて知っておきたいこと

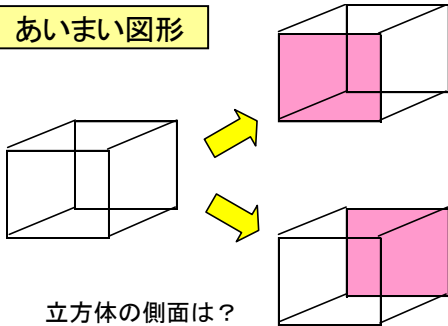
・ことばは人間だけに与えられた宝物である。

・赤ちゃんが親から学ぶことば・・・母語

人の赤ちゃんが生まれて最初に身につける言葉。お母さんの語りかけが大切

・ことばの力を十分に活用するためには言葉の性質を知っておく必要がある。

### あいまい図形

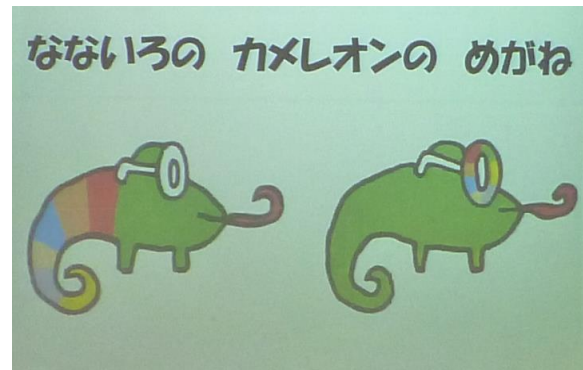


少女？おばあさん？  
どちらにも見える絵

一枚の絵が二通りに見える  
あいまい図形

言葉にも「あいまい」な  
言葉がある。

・あいまい言葉



あいまい言葉は意外に多い。

他人に誤解を与える元となるので、気をつけなければならない。

あいまい言葉を避けるには？

- ・表現方法を変える
- ・句読点をうまく使う
- ・漢字を使って意味付けをする



・君たちを悩ます宿題は出さない・・・今日の宿題は簡単だよ！

子供たちはどんな宿題でも悩む・・・子供たちは宿題が出ないと思った。

## 3. まとめ

1) ことばは人間だけに与えられた宝物である。

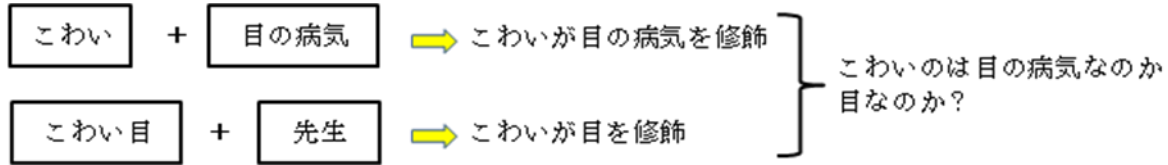
2) ことばの力を十分に活用する為には、ことばの性質について知っておく必要がある。



・関係代名詞（形容詞）には制限的用法と非制限的用法というものがあり、文中のカンマの位置で意味が変わる。

[例1] こわい目の( )・・・(カッコ)に言葉を入れて意味の通る日本語にする。

こわい、目の病気 } 句読点の位置で  
こわい目の、先生 } 意味が異なる。



[例2] ことばのやり取り：コミュニケーション、言葉のキャッチボール  
考えを巡らせて話す・・・思考



時計を持っていますか？と問われて？

→ はい。持っています。と答えた・・・質問に対する返答だけ。

→ 今、3時20分ですと答えた……………相手が時刻を知りたいのでは？と予想して時刻を答えた。

言葉はその場面によって色々な意味を持つ。



言葉だけでは見えない世界が重要な意味を持つ。  
相手の気持ちを察する事が重要。

[宿題] おんせんまんじゅう・・・温泉地で温泉の湯気でふかしているまんじゅうでは「まんじゅうおんせん」(=新しく作った言葉)ってどんな物が想像できるか？  
色々想像して画用紙に描いてみよう。  
様々な「まんじゅうおんせん」が描けるはず。  
様々な角度から考えてください。

《これで大津先生の講義『おもしろさとふしぎなことばの魅力』は終わり》

## 予告：「ミニかわごえ2013」こどものまち

川越 蓮馨寺 (れんけいじ) の境内に「こどものまち」をつくりまします。まちには、お店・学校・役所・ゲームセンターやたべもの屋があります。働いて、お金をもらい、まちの中で買ったりあそんだり、食事を楽しみます。ここはこどもが主人公のまちです。

開催日 2014年3月15日(土)・16日(日)

10時～16時

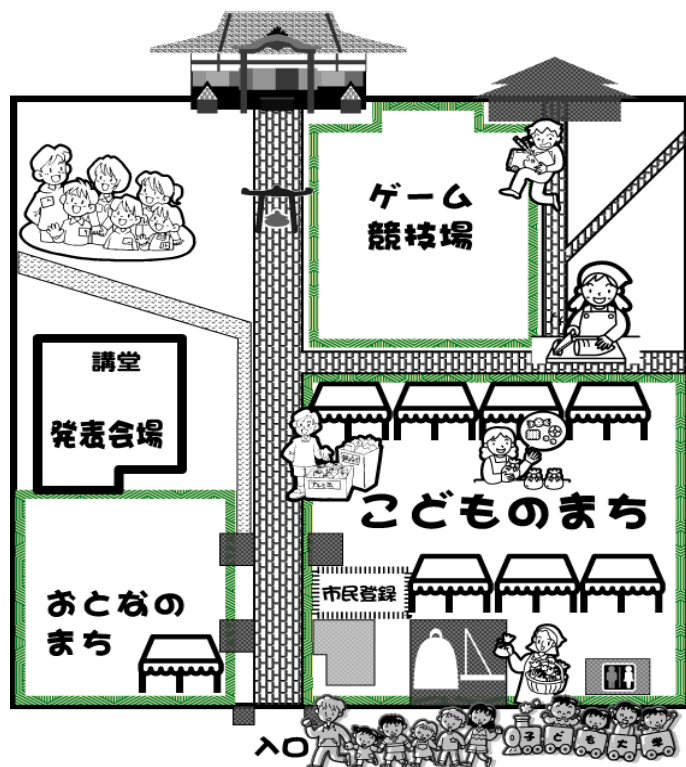
会場 川越市蓮馨寺(れんけいじ)境内



参加者 小学生～高校生  
入場料 500円/日

## あそびかた

- 市民登録します
- 入場料500円を払います
- 職業紹介所で、働く場所を探します
- 工務店・アクセサリ工房・洋服店・新聞社・放送局・学校などいろいろ
- 百貨店・食べもの屋・ゲームセンターなどなど
- 1時間働くごとにお給料（10こえど）をもらいます。
- 10こえどのうち、2こえどを税金としてしはらいます。
- もらったお給料で、食べたり、買ったり、あそんだりします
- そして、また職業紹介所で、働く場所を探して、働きます。



この「ミニかわごえ」子どものまちイベント

は、本来ドイツで始まったもので、子どもたちが集まってミュンヘン市のミニチュア版の「ミニミュンヘン」を作り、子どもたちのそのまちの中で遊んだり働いたりする職業体験型の催しです。「ミニかわごえ」はこの「ミニミュンヘン」の理念とその手続きが非常に



に優れており、世界や日本の各地で実行されている点に着目して、このプロジェクトを参考にして実行することになりました。子ども大学かわごえの教育3本柱の中には「生き方学」という子どもたちの将来の進路を考えさせる学習があります。「ミニかわごえ」はこの「生き方学」の体験学習版です。

この「ミニかわごえ」こどものまちイベントは従来子ども大学かわごえの学園祭として、

川越市の補助を受けて3回実行されてきました。そして3回の成功実績に基づき一応「ミニかわごえ」のモデルが完成したと判断されましたので、今後子ども大学の学園祭としてではなく、川越市の“こども祭り”として実行することになりました。この決定に基づき川越市役所や民間団体の協力をえて、川越の市民が「ミニかわごえ2013」こどものまち実行委員会を結成、実行にあたることとなります。

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E\_MAIL [info@cuk.or.jp](mailto:info@cuk.or.jp)